



NISHI EYE HOSPITAL

西眼科だより 第18巻1号

(季刊誌)

2016年1月発行

編集責任者：倉橋美雪

Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

〈ホームページ〉 <http://www.nishi-ganka.or.jp>



2016 新年明けましておめでとうございます 当院の眼科治療アップデート

フェムトセカンドレーザー 白内障手術

当院では世界最先端の「フェムトセカンドレーザー白内障手術」を白内障手術に導入して3年が過ぎ、すでに200眼あまりに施行しました。水晶体囊の前面を真円かつ中心に切除することが可能で眼内レンズを水晶体囊の中心に固定でき、レンズの偏位や傾きを最小限にすることができます。水晶体の分割も可能で超音波乳化のエネルギーを大幅に低減し限りなくゼロに近づけ、眼の負担を少なくしています。より質の高い良好な視機能の獲得が可能です。日本では厚生労働省にまだ承認されていませんので「自費診療」となります。

プレミアムレンズ【老視矯正眼内レンズ】

多焦点眼内レンズ・乱視矯正多焦点眼内レンズ

白内障手術に使用する眼内レンズには、「単焦点眼内レンズ」と「多焦点眼内レンズ」があります。単焦点眼内レンズはある一定の距離にピントがあう眼内レンズです。

多焦点眼内レンズには、遠くにも近くにもピントが合う2重焦点眼内レンズと2重焦点眼内レンズを更に進化させ、中間距離(50cm~1m)にもピントが合う3重焦点眼内レンズの2種類があります。2重焦点眼内レンズは「先進医療」として厚生労働省に承認されていますが、3重焦点眼内レンズ(ベルギー製)は先進医療として日本ではまだ承認されていませんので、術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代含む)に関わる治療代は全て「自費診療」となります。

アドオン 追加挿入型「多焦点眼内レンズ・乱視矯正多焦点眼内レンズ」

Add-On 眼内レンズは視機能向上のために開発された「二枚重ね挿入専用」の眼内レンズです。すでに白内障手術が済んでおり、挿入されている単焦点眼内レンズの上に、更にもう1枚 多焦点(2重焦点)眼内レンズ Add-On (ドイツ製)を追加挿入することで「遠くにも近くにも」ピントが合うようになります。3重焦点眼内レンズと同様に日本では先進医療として厚生労働省にまだ承認されていませんので Add-On に関わる治療代は全て「自費診療」となります。

レーザーを使った 涙嚢鼻腔吻合術(DCR)鼻内法

流涙でお困りの患者さんにチューブ挿入術を。挿入不可能な場合は、[レーザー涙嚢鼻腔吻合術\(DCR\)鼻内法](#)を行っています。鼻涙管に強度な閉塞がある・長期にわたり閉塞している・閉塞により涙嚢炎を繰り返し発症する等の症状に有効な治療法です。[鼻涙管内視鏡](#)と[鼻腔内視鏡](#)で観察しながら[レーザーを用いて](#)閉塞した鼻涙管を鼻腔内に開口させ、つまった涙の流れを良くします。この治療法は「眼科」「耳鼻科」両方の知識を伴う特殊な手術手技です。現在この手術を施行している施設・医師は全国でもまだ少数です。

網膜硝子体手術／緑内障手術

当院では25ゲージ(0.5ミリ)の細い器具を使用する「[無縫合小切開硝子体手術](#)」を。また、最新鋭機器コンステレーション(2台)の硝子体カッター(7500回転/分 スピード)を導入し、より高い安全性を追求した手術手技を行っています。硝子体手術は眼科領域で高度な治療分野の一つです。近年の手術器具の発達や手術手技の進歩により安全に手術ができるようになりました。

[難治性緑内障](#)に対し、眼圧低下を目的に房水を眼内から排出するために使用する最新のインプラント「[エクスプレス™ 緑内障フィルトレーションデバイス](#)」と「[アーメド緑内障バルブ](#)」の2種類を患者さんの眼に合わせて選択しています。薬物治療やレーザー等の治療法で十分な眼圧効果が得られない患者さんに、新たな治療の選択肢をもたらします。従来の方法より、合併症が少なくより安全性の高い手術です。当院では最新鋭の手術設備と熟練した専門医で、安全・確実な手術を行っています。

屈折矯正手術／その他

[詳しくはスタッフまでお問い合わせください](#)

レーシック(LASIK)・Epi-LASIK・LASEK・PRK

エキシマレーザーによる「近視」・「遠視」・「乱視」を矯正する手術です。

タッチアップ

エキシマレーザーによる「白内障術後の屈折力の差」を改善する手術です。

ピーティーケー(PTK)

エキシマレーザーによる「角膜変性症」・「帯状角膜変性」を治療する手術です。

有水晶体眼内レンズ(Artisan IOL・ICL)

水晶体をそのまま残し眼内レンズを挿入し矯正します。LASIKでは矯正できない「高度近視」や「角膜の薄い方」に効果的です。

オルソケラトロジー

ナイトレンズ(コンタクトレンズ)を就寝中に装用し角膜形状を矯正します。朝レンズを外し、昼間は裸眼視力を維持します。効果は非常に良好です。[子供さんの近視進行予防](#)効果も期待できるとされています。

クロスリンクング(CXL)

「円錐角膜」・「角膜拡張症」の進行を抑えることを目的とし、角膜の実質の強度を高めコンタクトレンズの装用も可能にするレーザー治療です。